

一年生

ピクニック

安田 かおり (13才)

きょうはピクニックがあります。

うさぎがいます。

ねこがいます。

いぬもいます。

いぬのようふくはみどりです。

うさぎのようふくはむらさきです。

ねこのようふくはあかです。

むしがいます。

ありがいます。

いちごバナナがあります。

オレンジとりんごがあります。

さくらんぼとパイナップルがあります。

ちようちよがいます。

かばんがあります。

みんなのしかたです。

いぬはちやいろ

にしやま あすか (9才)

いぬがいます。

いぬはおおきいです。

いぬはピルリトおいしいです。

いぬはりんごおいしいです。

いぬはいちごおいしいです。

いぬはバナナおいしいです。

ねこがいます。

ねこはバナナおいしいです。

ねこはおおきいです。

ねこはピルリトおいしいです。

ねこはキウイおいしいです。

ねこはりんごおいしいです。
ねこはいちごおいしいです。
うさぎがいます。
うさぎがはちいさいです。
うさぎはいちごです。
うさぎはりんごおいしいです。
うさぎがいます。
ありはピルリトおいしいです。
ありはパイナルおいしいです。
ちようちよはいます。
いぬはちやいろです。
ねこはちやいろです。
うさぎはしろです。

ピキニキ

いい さゆみ (7才)



ねこがいます。
ねこはしろです。
うさぎがいます。
うさぎはびんくです。
いぬがいます。
いぬはしろとくろです。
はちがいます。
はちはくろときいろです。
かばんがあります。
かばんはきいろです。
ふうせんがあります。
ふうせんはちやいろです。
むしがいます。
むしはちやいろです。
ちようちよがいます。
ちようちよはしろです。

うさぎがねこがいぬともだち

まるや あゆみ (7才)

うさぎがいます。

いぬがいます。

ねこがいます。

さくらんぼがあります。

ねこはばなながたべます。

ナロンがおいしいです。

さくらんぼがあかです。

てんとうむしがあかです。

ふうせんがくまです。

ぶどうはおいしです。

ちようちようはかわいす。

いぬがおおきです。

みかんがおいしです。

メロンがみどりです。

ばいなふるがおいしです。

うさぎ

サントス ライス (8才)

いぬがいます。

ねこがいます。

いちごがあります。

うさぎはかうあいす。

いぬがおおきです。

ねこがちさいです。

りんごはあかです。

めもんがあります。

ばなながあります。

うさぎはあおです。

いぬはあかです。

ぶどうがあります。

はちがいます。

いちごはあかです。

二年生

わたしの日本語学校

てらお めぐみ（10才）

わたしの日本語学校のこうえんはたのしかったです。たいいくかんのサッカとバドミントとバレーボールをあそびます。かん字テストをします。むずかしいです。水曜日はそらんをします。たのしかったです。りくじょうをします。あたしはカンサです。休み時間はおやつをたべます。おいしいです。わたしとナタリアバレーボールをあそびます。しほこいんしつへいきます。ゲームをあそびます。ゴビピのチラルです。ぶんぼうのべんきょうです。たのしかったです。よみののよみます。たのしいです。わたしの日本語学校のすきはわたしのともだちとしんゆうです。

日本語学校ありがとうございます。
みぞぶちゆかせんせいのはたのしいです。

ぼくの日本語学校

みやざき のぼる（9才）

日本語学校のみんなはぼくのともだちです。日本語学校ぼくとけんぞとりゆうたすきです。ぼくはりくじょうがすきです。ぼくはちよつとはやいですがきゆうがすきです。ぼくとりゆうたいいしよにあそびます。ぼくボールすきもぼくとともだちけんぞすきです。ぼくはやすみじかんでボールとテニスとやきゆうをします。すきです。これはぼくの日本語学校です。

わたしの日本語学校

もり みゆき（10才）

日本語学校はおもしろいです。日本語学校は野きゆうとサッカーとバレーボールがあります。かん字テストがだいすきです。あたらしいかん字がたのしかったです。日本語がっこうはたいことりくじょうとソーランがあります。わたしがりくじょうがだいすきです。ソーランはまだわたしはわかりません。わたしのともちはおもしろいです。ともだちはめぐみとあすかとゆきです。ケイマダがだいすきです。体いくはたのしかったです。ケイマダがだいすきです。

日本語学校の先生はたのしかったです。みんなはおもしろいです。日本語学校はだいすきです。

ぼくのほんごがっこう

たかくら まさかつ（8才）

ぼくのほんごがっこうは大きいです。ぼくはこうえんであそんだりやきゆうであそんだりサッカーがだいすきです。りくじょうはむずかしいです。火よう日と金よう日はよじじゆうごふんからろくじはんまでりくじょうのれんしゆうをしています。ぼくはたいいくがだいすきです。ぼくははやいです。かんじテストはふつうです。やすみじかんおいしいおやつをたべました。にほんごがっこうはおもしろいです。



三年生

日本語学校でおもしろかった時

いとう みのも (13才)

このピラードスールにはじめてきた時ぼくここにきてすぐかなしかったです。でもときどきともだちをいっぱいつくることができました。ぼくはだいすきなのは体育です。なぜならまえにぼくはドッチボールであそびました。よいちとおもいきりしようぶしてあとでひろしがすぐボールがぼくのまえにきました。ぼくはよけることができました。だからしたにおちてころびました。それでわたなべせんせいがいれんぞくボールをぼくになげました。それでぼくはアウトされました。ぼくがいちばんおもしろかったこととおもうのはサッカーとうんどうかいとあきこせんせいがきた時です。そしてぼくがやきうをやった時もおもしろかったです。それからうしのまるやきかいもおもしろかったです。すぐおいしかったです。ぼくはこのことがうにはいてよかったとおもいます。

たのしかったこと

中西 聖(15才)

日本語がつこうでたのしかったことはりんかんがつこうとうんどうかいと家のひかりです。りんかんがつこうはたのしいです。あたらしいともだちをします。いっぱいむをあります。うんどうかいはとてもたのしいです。うんどうかいはいっぱいゲームをあります。うらしまたろうとか百メートル、八百メートル、たまひき、つなひき、リレーなどです。家のひかりはサンパウロにいきます。えをかきます。そのあとひるごはんを食べます。

みんなはリベルダーデにいきます。たくさんいいものがあります。

スーパーにいきます。そのあと写真をとります。それは日本語がつこうでたのしかったことです。

日本語学校

コヘイア ビトリア(14才)

きょうねんはりんかんがつこうがありました。ピラードにしました。とてもたのしかったです。たくさんグループがありました。たくさんともだちをしました。たくさんグループがありました。わたしのグループは5です。たくさんかわいいおとこのこがいました。たくさんあそんでいました。たくさんたべました。

りんかんがつこうの一ばんはきもたためし、みんなえいがをみました。なまえはシヤマダペルヂダです。とてもこあいですが。でもわたしはみませんでした。わたしはいすにねました。

えいさもしました。とてもたのしかったです。みんなはおどりました。アジユダンテもおどりました。

みんなはとてもおもしろいです。

りんかんがつこうはわたしのころをかたづけしますよ。りんかんがつこうで一ばんたのしかったのはきもたためしです。

りんかん学校です

河津 しんじ(13才)

ぼくはりんかん学校にきました。二〇一一年ぼくはいちばんに行きました。りんかんがつこうはエイサとスポーツと朝ごはんと昼ごはんとシャワーとプロバデバレンチアとオリエンチリングです。エイサがむずかしかったです。スポーツは楽しかったです。朝ごはんはおいしいしかったです。シャワーを五分に行きました。プロバデバレンチアはよくにメドがありません。オリエンチリングがたのしかったです。ぼくはグループが五ばんです。ぼくとるみとえみとしろうとみほとあゆみとみゆきとマサヒロとひろあきです。

一ばんは五ポイントです。二と三と四は一ポイントです。

さいごにちは八ポイントがありました。五グループにさいごです。

ぼくりんかん学校にたのしかったです。



四年生・五年生

日本語学校での思い出

なくい はると(10才)

ぼくは日本語学校の思い出の中でいろんな思い出があるのて一つだけ言います。

ぼくはようちえんの時、ぼくはよくばりで、でぶでした。けどある日先生はぼくをよびました。

「はると、こつちこいとさげびました。」

ぼくは「なんじやいと言いました。」

「はやくきてと言いました。」

「はい、いまきますとぼくは言いました。」

ぼくは先生について、なんでよんだかきました。

せんせいはゆびをしたにむけて、ぼくが見たら虫がたくさんいました。

ぼくはびつくりしました。

けどぼくはその虫とずつとあそんでいました。ぼくはずつと虫とあそんでいたから虫がしにしました。

ぼくは、びつくりして虫を土にうめました。

一しゅ門たったら虫をうめたところから、木の目がでました。

けどそこでみんながみちまがりであそんでいて木の目がだれかにふまりました。けどぼくはちゃんとみるとその木の目はいろんなところに、ありました。

ぼくはそれをみてちよつとへんだと思っていたら、その木の目は十、二十の中でいつぼんだだけふまりました。

ぼくはそれを見てうれしくなりました。

これはぼくの日本語学校での思い出です。



わたしがかよっている学校

宗 ゆき(10才)

わたしがかよっている学校はとてもおもしろいです。その中で、ポルトガル語学校、くもと日本語学校で勉強をしています。

その三つの学校の中で一番おもしろいのは、日本語学校です。

日本語学校で先生は七人います。エリーナ先生、わたなべ先生、ゆか先生、れいか先生、りゅう先生、えり先生とあきお先生です。

一年生の先生は、えり先生とあきお先生です。

二年生と三年生の先生は、ゆか先生です。

四年生と五年生の先生は、りゅう先生です。わたしは四年生です。このきょうしつはとてもにぎやかです。ときどきしずかです。

六年生とじょうきゅう生の先生はわたなべ先生です。わたなべ先生は、わるい事をしたら、おこります。そのクラスはとてもしずかです。

ようちえんの先生はエリーナ先生です。その子どもたちはとてもかわいい子です。

体育の先生はれいか先生、わたなべ先生とあきお先生です。

ときどき、その他のじかんでゲームをします。ゲームの時、きょうしつはうるさくになります。どうしてかと言うと、ゲームはとても楽しい事だからです。わたしはその他のじゆぎようがきらいです。それは、とてもかんたんの事だからです。わたしはむずかしい事が好きです。

わたしは日本に行きたいから、日本語学校で勉強をしています。

わたしが日本に行ったら、勉強をしたり、おかしを買ったり、かぞくにプレゼントを買ったり、先生にプレゼントを買ったりします。

日本語学校はとてもおもしろい学校です。

私の日本語学校

ペレイラ カロリーナ(15才)

「日本語学校での思い出はなんですか。」先生は私にききました。そのこたえはむずかしいけど私はよくわかります。私はにけいではありませんでも日本語学校はとてもたいます。日本語学校は私の家と先生たちとせいとせんは私のかぞくです。

私のたいせつものはふたつがあります。友達と日本語学校です。

私はうまれたからいい思うなことは日本語学校です。

このピラール・ド・スール日本語学校は私のいろんなひみつがあります。

私はまだわかりませんがいいやなことがあっても学校にはいたら、じゆぎようをはじいたらせんぶわすれます。この日本語学校をずつとわすれません。

学校の先生たちと友達をずつとわすれないです。日本語学校の先生はいいな先生です。先生たちは私にたくさんおしえてくれます。べんきようだけでわなく私にそんけいもおしえてます。

私の学校はいろんなはつびよう会とコンクールがあります。たとえば母のひと父のひ、けいろ会、お話し大会、うんどう会、ぜんはくコンクール、ABCテスト、によくしけん、JICAけんしゅうとぼおどりです。

私は先生たち、ぶんきようのかたがた、ふじんかいとと母のかいにとでもかんしゃしています。なぜならたぶんこの日本語学校がいらないから、いまの私にたぶんまぜんかな。「みんなさんこの学校をつけてくたりほんとにありがとうございます。」



日本語学校での思い出

河津 みつお (15才)

日本語学校はたのしい学校と思います。この学校は色々なことをします。たとえばたいいくとりくじょうとソーランをします。

ぼくはピラール・ド・スール日本語学校にかよっています。ぼくが一番好きな時間はやすみ時間です。やすみ時間のときにぼくは友だちといっしょにはなします。ぼくが一番だいきらい時間は読み物です。読み物はとってもめんどうくさいと思っています。いっぱいよむだからです。ぼくはねむそうになります。

日本語学校の中で一番たのしいことはりくじょうです。ぼくはりくじょうをがんばります。ぼくはいっぱいれんしゅうをします。ぼくはもつとはやくのためはりくじょうのれんしゅうをしています。ぼくは去年よりもつとはやくなっています。ぼくは来年と今年よりもつとがんばります。ぼくはいっぱい友だちをつくります。だからぼくはりくじょう好きです。

たいいくのときに色々なスポーツをしています。たとえばなわとびとタグラグビーとミニサッカーをしています。ぼくが一番好きなスポーツはタグラグビーです。からだがいっぱいうごかすからです。でもこのスポーツはいっぱいケガをします。

日本語学校の一番たのしいまつりはうんどうかいです。うんどうかいはたくさんをきます。うんどうかいはいっぱいゲームあるからです。一番おもしろいゲームはうらしまたろうこのゲームはかおだけつかいます。かおをコムギコの中でいれます。あめをみつけます。このゲームはおもしろいと思います。

日本語学校はたのしい学校でしょう。色々なスポーツとまつりあります。ぼくが一番たのしい学校は日本語学校です。いっぱい友だちがいるからです。ぼくは日本語学校はいいところと思っています。ぼくはこの学校をわすれません。

私の学校の思い出

小崎 さゆり (13才)

私は学校の思い出がいっぱいあります。六才で学校にはいりました。ようちえんの時私の先生はかおる先生でした。ようちえんは一年だけやりました。

家にいるときたまに写真を見ます。学校のりようの写真を見るとこの日はとてもたのしかったなと思います。またこの日にもどりたかな、またともだちとプールにはいりたいなと思います。

学校にする母の日と父の日の発表会、ぶどうまつり、うんどうかいとかそのほか思い出になります。

りくじょうも思い出です。メダルをもらうとき、バスでもだちとはなすとき思い出になっています。

りようの時バスでもだちとあそぶとかはなすとかはとてもたのしいです。ともだちとプールにあそぶとき、いっしょに食べるときみんなとあそぶときみんなとプールでいっしょにあそぶときとてもたのしいです。私の思い出にのこっています。

学校はとてもたのしいです。ともだちとバレーボールとかバドミントンであそぶとてもたのしいです。学校でたいいくのときとてもたのしいです。

なつ休みの時はコンピュータであそんだり、テレビを見たりします。けどたまに学校を思います。また学校に行きたいと思います。また学校でともだちとあいたいんです。またともだちと学校であつてあそんだりいっぱいことをしたいと思います。

まだ学校でべんきょうをしたいです。私は学校をわすれない、学校の思い出をぜんぜんわすれない、学校をやめたくないです。どうして学校はとてもたのしいです。



「日本語学校のうりよくしけん。」

いい えいか (9才)

わたしはのうりよくしけんにいっぱいべんきょうして、がんばりました。

でもわたしはこう思っていました「わたしはのうりよくしけん」にパスできません。」とっていました。そしてわたしにのうりよくしけんのべんきょうをおしえた先生はよしみ先生でした。

のうりよくしけんの日だったとてもどきどきしました。

そしてわたしのクラスに入つてのうりよくしけんがはじまりました。とてもむずかしかったです。

でものうりよくしけんできました。わたしはバスにのつておべんとうをたべて、ねて、ショッピングにさんぽしてそしておとうさんといもうとに合いました。ピラールドスールへかえつてとてもつかれました。

のうりよくしけんの点すうを見ました。

パスできました。わたしはとてもうれしかったです。そしてことしものうりよくしけんのしけんをやります。

でもものうりよくしけんはとてもむずかしいです。ことしものうりよくしけんにはもつともつとがんばつて、もつとべんきょうをします。

わたしはのうりよくしけんがちよつときらいです。でもことしもやります。

のうりよくしけん」にパスするようにその日はとてもつかれる日です。



うんどう会



よしおか かおり (11才)

うんどう会はなのかにおこなれます。

うんどう会はいっぱいからだをうごいてします。だから「うんどう」

うんどう会にもいっぱいゲームをします。

「あ、わすれちゃった。」ちいさいこどももあそんでもいいよ。

うんどう会の前は本語学校はだんすとか、なわとびとかはつびようします。

日本語学校だけじゃないよ、お母さんとたいこもはつびようします。

あと日本語学校のせいとみんなぜんブラジルと日本のうたをうたいました。

うたったあととはゲームがはじまります。

一番のゲームは100mをはしる。2番、3、4、5、6・・・のあとはお母さんたちのはつびようです。

7、8たいこのはつびようです。わたしはたいこをたたいたりプレゼントをもらった。お母さんがおどったあともプレゼントをもらった。

さいごにこうひつ、もうひつ、え、さくぶんのしょうんをわたす。

きょうねんわたしえに2番になりました。

わたしプレゼントをもらった。プレゼントはきれいいろいろえんぴつでした。いろいろえんぴつはぴかぴかします。

わたしのとも友はさくぶんに1番になってわたしは「おめでとう。」といいました。ともだちのなまえはえいかです。

ことしもがんばって1、2、3になりたいので、がんばるとおもいます。

日本語学校の思い出

松岡 みほ (12才)

日本語学校の思い出することはサンパウロでりくじようをしたとき。わたしは1000mをはしりました。

わたしとおなじをはした人はとてもはやかっただす。でもわたしは2番になりました。

わたしのタイムは3ぶん58びようでした。とてもつかれました。

そしてメダルをもらいました、わたしがとてもうれしかった。でもわたしの足がとてもいたかったでした。

そしてこざきさゆりがはしるのが見ました。とてもすごかった。さゆりもメダルをもらいました。でも3番になりました。

そしてわたしとさゆりがはしるのはおわたときこうえでいっぱいあそびました。

そしてほかのまちでかくれんぼであそびました。とてもたのしかったです。

そしてへいけいけしをしました。

とてもおそかったです。へいけいけしをおわたときわたしがとてもねむかった。

そしてバスでねました、おきたときあつかったです。そしてまどをあけました。すずしかったでした。でも

まさみが「みほきもちがわるい？」そしてわたし「いいえ、あついからまどをあけました。」まさみ「うん、まどをちよつとしてください。」わたし「はい。」

そしてピラールにつきました。さむかったです。でもはやく家に行きました。シャワーをあびて、はをみがいてねました。



日本語学校のたのしい思い出

さとう かつみ (11才)

日本語学校のたのしい思うはサッカーであそんでいます。

にほんごがっこうはいっぱいことをしています。にほんごがっこうでサッカーとゴルフ、げとぼる、ピンポン、バスケットボール、やつきゅう、りくじようなどをしてもいいですとたのしい。

にほんごがっこうではいちばんすきなスポーツはサッカーです。ぼくはにほんごがっこうでいつもサッカーをします。

ぼくは二ねんせいときはパソコンできるびるであそびました。でもよねんせいにきるびるのゲームも

しない。

ぼくは学校でおもうことはたのしくておもしろいです。

ぼくはようちえんのときはひでおとひでよしとあそびました。ぼくとひでおとひでよしはチーシャツをぬいでいっぱいはしりましたとんでいました、とびましたとうそをはなしましたなど。

ぼくとひでおとひでよしはがっこうのこうえんがいちばんすきました。

にほんごがっこうはいつもたのしいです。

ぼくはアンシエータマラソンのあとでアイスクリームをたべます。アンシエータマラソンはぼくのだい

すきです。

うんどうかいの日もたのしいです。ぼくはいっぱいプレゼントをもらえます。

ぼくのじゅうぎようはたのしくておもしろいです。





日本語学校での思い出

ひやま せいじ (12才)

語学校はとてもおもしろいです。どうしてかというところが、いっぱいスポーツします。いっぱいなともだちがあります。

でも、いつは、いなかきょうがあります。

ぼくは、げつようびに漢字テストとその他があります。火ようびに読み物と、りくじよと体育があります。水ようびはコンピューターと文法と、そらんがあります。木ようびにあたらしい漢字と体育があります。金ようびに、いちばんわるいです。文化活動と、りくじよがあります。でも、りくじよは、たのしいです。

ぼくは、サッカーや、すみじかんにあそびます。

ぼくのともだちは、かつみと、まさきと、まことと、ひろしと、もつと、があります。

ぼくは、りくじよに、たかと、びと、ちようきよりと、かして、います。そらんは、かい、かんに、します。

そらん、に、いつ、ばい、れん、し、ゆう、する、ンロ、カバ、と、ピー、ルール、に、お、ど、ります。

ぼくの、せん、せい、は、り、ゆう、せん、せい、です。とても、おもしろい、です。でも、とき、どき、に、お、こ、ります。せん、せい、も、こ、ぼん、に、ち、ゆう、い、を、書、き、ま、す。

ぼく、それ、だ、い、き、ら、い、です。

でも、き、ち、んと、した、ら、ち、ゆう、い、が、あ、り、ま、せ、ん、です。でも、ぼく、の、いち、ばん、が、つ、こ、う、す、き、な、こ、と、は、い、え、の、ひ、かり、と、り、よ、こ、う、を、す、る、と、き、で、す。

い、え、の、ひ、かり、8、月、い、つ、か、で、す。
り、よ、こ、う、1、1、月、い、つ、か、で、す。

が、つ、こ、う、に、い、つ、ば、い、た、の、し、い、な、こ、と、す、る、か、ら、日、本、語、学、校、が、す、き、で、す。

日本語学校ですること

金子 まさき (12才)

日本語学校で、さいしゅうは、そんな、けい、を、お、し、え、ま、す。学、校、は、じ、ま、る、と、き、あ、い、さ、つ、し、ま、す。それ、は、と、て、も、だ、い、じ、な、こ、と、け、ど、ブラ、ジ、ール、学、校、は、それ、が、お、し、え、ま、せ、ん。

日本語学校で、毎日、ち、が、う、な、こ、と、し、ま、す。まい、し、ゆう、は、テ、ス、ト、と、か、文、法、と、い、ろ、ん、な、こ、と、し、ま、す。

毎日、学、校、お、わ、る、時、き、よう、し、つ、の、そう、じ、を、し、ま、す。そ、して、まい、し、ゆう、の、金、よう、日、は、学、校、の、そう、じ、を、し、ま、す。

一、月、の、中、に、金、よう、日、に、も、う、ひ、つ、や、り、ま、す。

母、の、日、に、は、発、表、会、し、ま、す。が、つ、そ、う、や、が、つ、し、よう、や、げ、き、や、り、ま、す。一、番、じ、よう、ず、な、げ、き、は、6、年、生、の、げ、き、で、す。こ、と、し、は、ほ、か、の、年、よ、り、お、も、し、ろ、か、つ、た、で、す。

ス、ポ、ー、ツ、の、こ、と、も、あ、り、ま、す。アン、シ、エ、タ、マ、ラ、ソ、ン、も、う、あ、り、ま、す。それ、は、一、五、〇、〇、メ、ト、ル、は、し、つ、て、す、ご、く、つ、か、れ、ま、す。そ、して、アイ、ス、ク、リ、ーム、を、食、べ、ま、す。それ、は、一、番、い、い、と、き、で、す。

でも、「アイスクリームがおいしいけどもうひとつも、ら、え、な、い、か」と、思、い、ま、し、た。

は、し、る、時、は、ぼ、く、は、だ、い、き、ら、い。な、ぜ、す、ご、く、つ、か、れ、ま、す。お、ん、な、の、こ、の、ほ、う、が、ら、く。一、〇、〇、〇、メ、ト、ル、し、か、は、し、れ、な、い。お、と、こ、の、こ、は、も、つ、と、も、つ、と、アイ、ス、ク、リ、ーム、も、ら、つ、た、ほ、う、が、い、い、で、す。

十一、月、に、学、校、の、り、よ、こ、う、が、あ、り、ま、す。す、ご、く、お、も、し、ろ、い、で、す。毎、年、は、ち、が、う、な、こ、と、で、す。

学、校、で、や、つ、ぱ、り、た、く、さ、ん、こ、と、す、る、か、ら、す、ご、く、楽、し、い、で、す。

日本語学校での思い出

松岡 まこと (16才)

日本語学校での思い出では、ちいさいな、が、こ、う、と、人、は、ち、よ、と、あ、る。日、本、語、学、校、は、た、く、さ、ん、じ、ゆ、ぎ、よう、が、あ、り、ま、す。漢、字、と、か、そ、の、他、と、か、文、法、と、か、コン、ピ、ュ、ー、ター、と、か、読、み、物、と、か、た、い、い、く、が、あ、り、ま、す。でも、ぼ、く、は、文、法、が、す、き。日、本、語、学、校、は、い、つ、ば、い、は、つ、び、よう、か、い、が、あ、り、ま、す。母、と、父、の、日、と、お、は、な、し、は、つ、び、よう、か、い、と、ボ、イ、・ノ、ホ、レ、テ、と、ぶ、ど、う、ま、つ、り、と、う、ん、ど、う、か、い、と、カラ、オ、ケ、と、そ、つ、ぎ、よう、が、あ、り、ま、す。

日本語学校は、りくじよう、と、たい、こ、が、あ、り、ま、す。ぼ、く、は、りくじよう、は、と、き、ど、き、れ、ん、し、ゆう、を、し、ま、す。ぼ、く、は、たい、こ、を、し、ま、せ、ん。ぼ、く、は、りくじよう、が、す、き、で、も、り、く、じ、よう、は、カン、サ、チ、ボ、と、ぼ、く、は、りくじよう、の、し、あ、い、は、と、て、も、き、ら、い、で、す。

げつ、よう、び、と、も、く、よう、び、は、と、き、ど、き、た、い、い、く、かん、を、サ、ッ、カ、ー、を、す、る。

日本語学校は、アンシエタマラソンが、あ、り、ま、す。アン、シ、エ、タ、マ、ラ、ソ、ン、は、一、キ、ロ、メ、ト、ロ、と、は、ん、ぶ、ん、を、は、し、り、ま、す。アン、シ、エ、タ、マ、ラ、ソ、ン、は、お、わ、た、ら、アイ、ス、ク、リ、ーム、を、た、べ、ま、す。でも、アン、シ、エ、タ、マ、ラ、ソ、ン、だ、い、き、ら、い、で、す。1、1、月、は、り、よ、こ、う、が、あ、り、ま、す。き、よう、ね、ん、は、フ、ア、ゼ、ン、ダ、へ、い、き、ま、し、た。

8、月、は、い、え、の、ひ、かり、が、あ、り、ま、す。い、え、の、ひ、かり、を、お、わ、た、ら、り、ベル、ダ、デ、へ、い、き、ま、す。た、く、さ、ん、も、の、を、か、い、ま、す。

日本語学校は、い、い、と、こ、ろ、で、す。



たいこでの思い出

じょうじま なおみ（12才）

わたしはたいこでの思い出はみんなはたくさん、そんなけいある。ともだちとか、リーダーとかみんなにそんなけいあります。

たいこはわたしにとつても、とつてもさいじなことです。なぜなら、たくさんともだちいて、たくさんあそんで、たくさんおぼえてとてもたのしそうです。

たいこにいくときちよつとめんどくさいあるけど、たいこおわるとき、さびしいになります。なぜならともだちをみない、みんなであそばないからです。

たいこのはつびようかいのまえにはわたしはとつてもきんちようするけど、はじめているときわたしはちよつときんちようして、ちゃんとできます。

たいこはわたしのいちばんだいすきなことです。なぜならとつてもたのしくて、おもしろくて、みんなともだちになつて、いつしよにあそんで、わたしはとも、とてもだいすきなことからです。

たいこのしあいあるとき、ときどきかちます、ときどきまけます。かつとき、みんなはとつてもうれしくて、たくさんコメモラします。けどまけるととき、みんなはとつてもかなしくて、ちよつとなきます。まいにちかたないけどたくさんがんばることをします。

みんなのおとうさんとおかあさんはいこのフェイジョアードとかボイノホレットとかぜんぶにてつだうから、おとうさんとおかあさんともありがとうございます。

たいこはわたしのとてもだいすきなこと、とてもがんばれなことです。えみはわたしをてつだつて、わたしはせいかをてつだつてみんなほかの人をてつだいます。

ゆみとえりはたいこのリーダーです。ゆみ、えりとつてもとつてもありがとうね。

わたしはたいこをとつてもだいすきです。

日本語学校での思い出

松岡 ひろし（14才）

今日はブラジル学校にぼくのともだちがいました。

「日本語学校での思い出。」

「ぼくがわからない。」といいました。

ブラジル学校がおわたあとにすぐ日本語学校に行きます。日本語学校に行くときぼくがともだちがいたことを思いました。ぼくは日本語学校に日本語のべんきょうします。でも日本語学校にべんきょうするだけでなく、たとえばりくしよとたいことそうらんがあります。

六月十日にりくじよのたいかいがありました。ぼくは1500mとはぼとびがやりました。みんながりくじよがしている人はりくじよのたいかいのまえにみんながいしよけんめいきつうれんししゅうをしました。ぼくは1500mで5ばんになりました。

ことしまだりくじよのたいかいがあります。

そしてたいこのれんししゅうがあります。たいこはいばい人があります。たいこのれんししゅうは水よう日と土よう日です。たいこのれんししゅうはともきついです。でもぼくはことしにたいがでました。そしてフェジョアードのたいこが6月3日にあつた。

さいごにそうらんがあります。そうらんは日本のおどりです。5月17日にそうらんがボイノホレーチにおどりました。そうらんはフェジョアのたいこもおどりました、

ぼくは日本語学校がいつもそんけいがあります。



日本語学校での思い出

伊藤 小百合（14才）

わたしは日本語学校思うときたくさん思いであります。学校でたのしいとききらいときずつとたくさん思いであります。

きらいときはおはなしはつびようかいです。どうしてかいうとはずかしいからです、みんなのまえにマイクでいうことをわたしはだいきらいです。

くらすでべんきようしているときに、みんなはなしたら、わるいことしたら先生はおこります、おこるときにほかなかおをして、おおきなこえではなしてとつてもこわいです。

けど学校にたくさんたのしいときあります。

うんどうかいとか、りよこうあります。

うんどうかいでみんなたのしいにあそんで、たくさんプレミオがもらうことはだいすきです。

りよこうの日にみんなプールにおよいで、わらつて、みんないつしよにあそんでうれしいです。

わたしはここでちいさいからたくさんともだちあつて、かなしい、うれしい、きらいときあつていま思うことはきもちがよいです。

ことしは日本語学校にそつぎようします。ブラジル学校のべんきようにもつとがんばりたいからです。

とつてもかなしいです。

日本語学校からでますけど思い出はわたしといつしよにもつてきたいです、おおきくなつたら日本語学校の思い出がえたらわすれないです。





日本語学校での思い出

おかむら ひでよし（13才）

2003年ピラールドウスール日本語学校に入りました。

ぼくが四さいあった、ピラールドスール日本語学校、さいしゅうの日ぼくがしづかだっと思います。でもいつしゅうかんかかって、ぼくはクラスの一着うるさい子でした。

ぼくのさいしゅうのクラスは4にんありました。その4にんはぼくとなくいそらおといわいえみとさとうしろうでした。

けんかがあってそれでもみんなたのしみにした日もありました。

じかんがかりました。

2008年。

ぼくが9さいもありました。その五年に、2003年の友もだちもありませんでした。でもかなしみになりませんでした。なぜならもともと友だちがありました。

日本語学校でいっぱいべんきょうしました。ひらがなおぼえて、かたかなやかんじの勉強をしてそのふたつもおぼえました。

エリーナ先生はぼくのさいしゅうのせんせいでした。おやつを食べて、おもちゃをつくって、いっぱいあそびました。二か三年かかってちがう先生がぼくたちのあたらしい先生になりました。

2012年

ぼくが十三さいもあります。今はむかしとちがうことをします。今は勉強だけです。なぜならぜんぶがあそびじゃないから。

ぼくは日本語学校がすきだと思います。

日本語学校での思い出

岩井 えみ（14才）

日本語学校、と言って、私はたくさん事を思い出します。ともだち、たのしかった日を思い出せます。

日本語学校でたくさん事をするので、とてもたのしいです。でも、いちばんたのしいな事はたいいくです。ともだちとあそぶ事がとてもおもしろいからです。

ともだちとあそぶのがたのしくて、私はたくさんわらいます。

私は日本語学校のじゅぎょう中がちょっとつまらないと思うので、ともだちとちよつとはなします。

でも、私はぜんぶのじゅぎょうがきらいじゃない。たいいくとか、ぶんぼうとか、コンピューターのじかんとかすきです。

日本語学校には母の日父に日とか、けいろうかいとかするので、がつそうとかがつしゅうのれんしゅうをします。

がつそうとがつしゅうのれんしゅうはいつもとてもたのしいじかんです。

母の日のれんしゅうには

、みんながんばります。がつそう、がつしゅう、げき、ぜんぶがんばります。母の日に、お母さんたちにかんしやをするきもちを出すからです。

日本語学校もりょこうします。そのりょこうは、私はだいすきです。

りょこうには、ともだちとあそんで、プールにおよいで、おいしいひるごはんを食べて、たくさんわらいます。

りょこうの日はいつもたのしい日です。

私は日本語学校にはいた日から、今日までに、たくさん思い出をつくりました。

その、おもしろいな思い出は、私はぜんぜんわすれないのです。

六年生・上級生

心から伝えたいこと

岡田 えり（16才）

私の前に歩いていた先輩達の姿は今でも覚えています。私の場から見たら彼達の背中中は大きかったし、なんでもやっていたことで上手にできていたのです。かつこいいな、大きくなったら同じようになりたいな、といつも私は思っていました。

そして今は私、昔の彼達と同じようにやっと先輩になりました。大きくなるにしたがつてせきにんをとらなきやいけないことはたくさんあります。

先輩の前で授業中で遊んでいる姿を見せたらだめ、正しいことと正しくないことを日常の中でおしえていくこと、こういうのが先輩になることです。でもいつもこんなにかたいことをするばかりではなくても、互いに遊んだりあげたり、笑ったりしたりすることも先輩と後輩のかんけいだと思います。

今年はさんねんなことでしゅうりよう生が多い見たいです。十三才とか十四才の子が今年が日本語学校に通うことが最後になると言っていました。あまり学校に来ていない子がたまにいます。そういう子は小さい子達に悪いえいきようになっているし、自分の親のお金もむだに使っているのです。日本語学校では何もやる気がぜんぜんなかったら本当に出てほしいです。でもそんな子じやない生徒がたくさんいます。それにでもこの学校からでたいのです。彼達のその出たい理由は分からないけど、私が同じねんれいだった時は

「あー今年はまたたくさん先輩が卒業する。学校はつまら

なくなる、私も出たいな。」

と昔の私は思っていました。でも私は学校に通い次けて、そして先輩までになって、上級に上がって、小さい子達から違う目で私達を見はじめました。けいけんはたくさんとれることができました。だからその生徒達を日本語学校に残ってほしいのです。一生人生にもついていくけいけんをとるからです。そして後悔しないようになってほしいのです。今年、私は卒業します。なにげなく色んな思いが頭にうかびます。後輩達は昔の私と同じように私は良い先輩と思っているのかしら。私は悪い先輩ではなくかんべきな先輩でもない、ちょうどその間にいます。まだまだこの半年があるから先輩として後輩達の為にやれるぶんをやりきれたのです。後悔という気持ちはきらいからです。

けいけんの声

武安 洋一（16才）

「洋一しずかにしてください。」

「洋一ちゃんとして。」

いつも大声だしたりたりぶざけてたりよく先生にしかられてたり、幼い僕でした。

十三才くらいまで僕はすこしうるさい生徒でした。毎日、友達といっしょにいたずらしていてほかの子供達も僕の事をあまり好きではありませんでした。でもそれはともかく僕はじゅぎようを頑張っていました。いつもしゅくだいを持って来て、テストに合格していました。

僕のせいにかくのぎやくてんとしたのには陸上だと思っています。僕は陸上のリーダーになって後輩達に良いえいきようを与えなければいけなかったの僕のせいにかくはんぜんにかわりました。ほかの人の事を考えるようになってせきにももつと持って良いせんぱいになれるように頑張りました。

た。
前の僕と今の僕をくらべたらとても違います。かわったのはせいにかくだけではなく考え方も見方も、月とすっぽんです。

僕が今の十二才や十三才の生徒達を見ていたらすごくおどろきました。今の皆はせきにんなし、先生やせんぱいの言う事を聞かずそんけいもありなさそう気がしました。僕もその時はこのようだったかわかりませんですけど僕の時のせんぱい達の気持ちをぐたいてきにわかります。

今、僕は陸上のリーダーとしてわがままな子やうるさい子やぜんぜん言う事を聞かない子供達のめんどうを見ています。たまにははらがたつ事もあるけど僕は父母のように正しい事と正しくない事をしめておしえています。

僕がせんぱいになる前にこの事をかんがえてなかったからうるさい子でしたけど今は僕がせんぱいの幸さを感じてかこにもどりとくてもつと良い子供になります。だから僕が後輩に伝えたいことはひとつだけです。

「皆はきつといつかせんぱい、父、母になるからできるだけほかの人にめんどうをかけないで頑張りました。」



この作文を続んでいる後輩へ

岡村 ゆみ (16才)

岡村ゆみです。十六歳です。私は、このピラール・ド・スール日本語学校に通い始めてから、もう十二年になります。はじめには、怖かったです。新しい世界へ、もちろん怖かったです。知らない人ばかり、わからないたんで、怖くなる理由はわかる。でも、だんだん、だんだん、友達が出ていく、だんだん先生と話をかけていく、そのあとはしぜに起る。

そして、入ってから何年がたって、私は学校の部活やり始めました。たとえば、陸上とか、太鼓とかです。

その入った瞬間から出る時まで、他の人にお世話になるから、頑張らないと。

頑張るということ、ただのかいた汗じゃないから、いつか、自分にもむくあれるから。

「だから、いつも、頑張つてこい。頑張るすがたはただではないからさ。全力をつくせばいい。」

そして、もくひよう。

私は負けず嫌いなので、いつも自分にもくひようを作っています。小さなもくひようでも、たくさん作ったらいい。

そのこまかいところも、大事です。

「ちりもつもれば山となる。」

それで、夢

夢はすごいことです。その、やりたいこと、なりたいたいところ、行きたいところ、全部、夢を持ったら、きつとかなうはずだ。でも、それまで、たくさん頑張らないと。

夢を持つて、もくひようを作つて、そして頑張る。きつといいことになります。

この作文を続んでいる後輩へ、

「あきらめないで、自信を持つて、ファイト。」

「あ。それで、学校の守りは、しっかり守る。ちゃんとあいさつをする。先生と日本語で話す。ゴミはちゃんとゴミ箱にすてる。そして、最後、スマイル、人生はみじかいもんだから。」

ばくの先輩としての意見

名久井 そらお (16才)

今まで後輩であつた僕。今年は日本語学校の一番上のクラスです。僕は自分が先輩とは言えませんが、先輩としての意見をこの作文に書きます。

まだ三、四年生のころ、ちゃんと漢字の勉強をしておかなくて、今そんなしています。そのころの漢字を読めなくて、

じしよで漢字の読み方をさがさなければなりません。そんなめに合わないために、ちゃんと勉強をしておけばよかったな。そう言う考えをしないために、ちゃんと勉強をしておかなければなりません。どんなにつまらなくても勉強はしておかなければなりません。

今年の四、五年生は(皆ではありません)日本語の勉強をなめているような気がします。じゆぎよう中にさわい

り、先生の言う事をきかないなどとそういう事をしています。そうやってじゆぎよう中にふざけたり、遊んだり、すきかつてな事をするのはどのくらい楽しいのかは分かりません。だが世の中は自分に良いようにだけではできません。だからそのさわぎ、先生の言う事をききながら、学校の毎日を楽しく過す事はできますので、それをちよつとずつなおせれば良いのです。

今度は僕の大好きな陸上の事です。何年か前練習をちゃんとしなくて、先生にいつもしかられていた僕は十二、十三才になったら、大会でメダルがもらえるとはありえない事だと思っていました。足の骨をおつてから一年間陸上を

やめていました。だが去年、また陸上の練習をやり始めました。それからは練習を本気で始めました。それから大会でいつも自己ベストのタイムを切り、メダルをもらっています。だがそれだけではまん足ではありません。いつもちゃんと練習をしています。だから「きみがどんなにおそくても、頑張ればいつかメダルがもらえるぞ。いつか先輩達みたいになれるんだ。」その言葉を陸上の後輩達に伝えたんです。

最後の一事として「先輩達のする事は全部ただしいわけではない。だがそれをお手本としていこう。」(僕には先輩という名前はありません)



後輩に伝えたいこと

安藤 ひろき (12才)

もし、後輩にいい事を伝えるとしたら、たくさんあります。例えば、いろんな小さい子は、ゴミはゴミばこにするかわりに、じめんにすてる。その事に、僕が伝えたいことは、「ゴミはゴミばこにする。ゴミばこがないばしょに、ポケットに入れて、ゴミばこを見つけたら、そこにすてる。」と伝えます。まずこれは一つめの事です。二つめの事は食べる時です。食べる時に、とくに小さい子、食べ物をたくさんとって、そのあとちよつと食べて、あまったものはぜんぶすてる。その事に、『食べるだけをとってください。きらいのをとらないでね。まずちよつとだけをとって、あとでまだお中がすいているだったら、もうちよつととってね。食べ物ですてたら、思い出して、せかいにいろんな人は食べ物がない。』と言う事を伝えたいです。三つめの事はけんかの事です。いつもだれがけんかしてる。その事に、「けんかをやめて。いつもだれかけがをしてなきます。だからやめて。」と言う事を伝えたいです。よつめは勉強の事。勉強の時、たくさんの方は、「めんどろだな。」と言います。それでテストにもわるい点すうをとります。「どうして学校がある。」と言う人もいる。その事に、「いいしうらいがあるために、勉強がひつようです。せかいにどこでも行ったら、その国に言う事の勉強をしなければならぬ。就職の事は、学校で勉強をした物も就職に使います。だから勉強も大切です。」と言う事を伝えたいです。五つめはかってにさわる事です。小さい子はちよつといるけど「かしてください。」を言わないでかってにほかの人の物をとります。その事に、「まず、かしてくださいを言つてね。」と言う事も伝えたいです。さいごに、遊ぶ事です。例えば、サッカーの時、たくさんの方はサッカーをして、そのあと、

ボールはだれでも、「僕がかえさない。ボールはあなたにさいごでぶつかったからあなたがかえす。」と中の子と小の子が言います。その事に、「みんなが遊んだから、だれがかえして。遊んでいない子にボールをなげて、あなたにぶつかったからあなたがかえす、としたらだめ。」と僕が伝えたいです。この六つの事が、僕は後輩に伝えたいです。

後輩に伝えたいこと

島崎 小百合 (12才)

二年生と子、三年は、ようちえんにいじわるさせないとか、みんなでけんかをしない。

ちゃんとじゅぎよう中は、しずかに先生のかおをみて、先生のはなしを聞いて、あそびしないで、ちゃんとべんきようをする。わたしみたいに、につきをだすのをおくれないうで、ちゃんときまつた日に先生にわたして、ブザーがなつたらともだちと、はなさないで、きようしつに入っている。

学校の時間をまもつて、ちゃんと8時前に学校につくようにする。じゅぎよう中で、ちがう人のきようしつに入らない。でも先生がいて言ったら入ってもいい。ちゃんとしよくいんしつで、先生たちに、「おはようございませう」と言う。つかったものはもとのところにかたづけする。

たいくかんで、くつをかえてから、入る。

じゅぎよう中で大きいこえをださない。

先生の言うことを聞いて、先生が言ったことをする。先生をいつもおこらせない。ちゃんと学校のきまりをまもるようにする。先生がはなしている時、友だちと、かんけいはなしをしないで、じゅぎようにかんけいがあるはなをする。でも先生がはなしている時しずかいする。先生や友だちにめわくをかけないように、しずかに、べんきようをする。

先生がなんか言ったら、もんくをいわないで、ちゃんとする。

おかしを食べて、ごみをこうえんとかに、すてないで、ごみばこにする。じゅぎよう中で、あめ、ガム、おしとかを食べないで、休みじかんや、かえり中に食べる。

二人とかだけであそんで、いっしょにあそびたい人を、「いっしょにあそばない」と言わないで、いっしょにあそぶ。じゅぎよう中でいつもせきをたたない。

金曜日、そうじをするとき、「そうじをしたくない」と言つて、にげて、そうじをしないのは、だめです。ちゃんとそうじをしないといけません。

後輩に伝えたいこと

南 りか (13才)

私はもう十三才だから小さい子達のめんどろを見なければならぬ。

私が小さい子におしえたいことは、いいことおしえたり、みんなといっしょに楽しそうにあそんだり、そして友達にうそをつかないことをおしえたいです。一番わるいことはうそをつくことだと思います。どうしてかという、たとえば私が友達にうそをついたら、私はもう友達と話せないし、一人ぼっちになつてしまふし、友達もでなくなるし、うそつきてよばれたりします。

それと、きよくもだいじです。きよくがなかったら一番だいきらいな人になるかもしれせん。でもきよくがあつたら本当にちがうな人にみえます。

今の小さい子にはいきよくをあげないとしようらいわるい人になるかもしれせん。いい人という事は明るい人でもいいきよくがあつて、わるいことをしない人です。わるい人はきよくがないし、たばこをすつたり、人

達とけんかしたり、いつもわるいことをしている人です。私は小さい子にたくさんいいことをおしえたいと思っています。

それと小さい子にわるいことをおしえたくないです。たとえば車に石をなげたり、大きい子にきたないことをいったりおしえたくないです。本当にいいことをおしえたいです。

大きい子になるとたいへんだな―いつも思っています。どうしてかという小さい子達はいたずらをしたり、友達といっしょにやねのうえに石をなげたりするのが好きだと思います。

それと日本語を話す時、先生だけではなく友達と日本語で話すこともいいと思います。

小さい子供が勉強をわからない時おしえてもらうし、いろんなことをおしえます。

今の小さい子しように大きい子になつてほかの小さい子にむかし勉強をおしえていた人とおぼえたことをおしえたらいいと思います。

大女になったらもつとたいへんいつもおもっています。

後輩に伝えたいこと

丸屋 せいぞう (14才)

せんばい？ せんばいて、何んだ？ いったい自分は、何でこの世界に、いきているのか、自分も、わからず、いきてきた。自分は、ただ、いままでいきてきた。ただ、それだけ、後輩とか、せんばいと、いう、そんなさいにも、かわらず、自分は、いきてきた。ぼくは、一ども、そんなことにもかかわらずまっすぐなみちを、あるいている。

そんな、自分は、こんな、やなみち、はやくおわらないかな―と、心の中で、おもっている。でも、いま、じんせい

の、いみをした。いま、ぼくは、せんばいであり、ただ自分の一ばんだいじな、しごとは、いままで自分一りで、したことや、学校とか、かぞくから、ならったことを、後輩につたえることだとおもう。たぶん、自分は、後輩にあたらしい世界を見せてあげることだと、おもう。でも、まだまだはやい。ぼくは、まだ何にもしらないのに、もうせんばいになるなんて、むちゃだよ―。て、何んでぼくは、

自分がせんばいだとおもってんの？ いみわかんねえとかおもってせんばいになることをあとでかんがえることとした。そして、自分じんせいをたのしむとする。でも、ぼくが、いつか、だれかのせんばいになったら、まず、けんかををしないこと、友だちを、すること、わるぐちを、つかわな

いこと、そして、一ばんたいせつなこと、やりたいことを、ざいごまであきらめないことを、みんな、できれば、ブラジルの人だけではなくちがう国の人にも、せんばいとして、

つたえたいと、おもっています。あと、いま、ぼくは、十二才で、すっごいせんばいたちがいて、もお、ぼくは、なんて、うんのいい人て、おもうぐらいのいいせんばいたちがいます。いつも、そんなせんばいたちを見て、よききよ

うも、あきらめないぞ―と、いつもおもっています。だから自分の後輩が、ぼくをみて、そうおもうぐらい、いい、せんばいになりたいとおもっています。後輩 F I G H T。自分がそだてた、後輩がえらくなくてもいいから、その後輩が、せいちようして、いいしごとをみつくて、また、い

いせんばいに、なつてもらいたいと、おもっています。

後輩に伝えたいこと

岩井 けいじ (16才)

後輩に伝えることは日本語学校だけではなく、ブラジル学校、たいこ、りくじよう、かぞくもあるし、いろいろな

後輩をつたえることがあります。ぼくは四才の時日本語学校のようにえん生に入りりました。

ようちえん生の時「あいうえお」のべんきようをしたり、いっぱいあんだり、おやつを食べたりしてしました。

日本語学校に小さい子はあまりせきにんがないので先生たちはずつとちゆういをしています。

物をつかつかたづけなかったり、水をだしっぱなしにしたり、ごみをすつてなかったり、じぎょう中にあめをのんだりします。でも先生が見ている時には小さい子たちはなにもしない。でも先生が見てない時にはぼくたちがちゆういします。

今、ぼくがちゆういをしていますけど、小さいの時、ぼくはちゆういをいっぱい聞きました。

ブラジル学校にはあさにかよっています。あさにはあまり小さい子がいないので日本語学校とちよつとちがいます。ブラジル学校にも日本語学校のせいとをちゆういをしています。

りくじようしたいこ、ぼくはしていないけど、れんしゅうの時にはあぞんだり、いっぱいはなしたりする子は先生とせんばいたちがおこります。

かぞくにはぼくは兄といもうとがいます。兄はぼくたちにいろいろなことをおしえました。ぼくもいもうとといとこたちにおしえます。

ぼくは後輩につたえたいことは、「いつもお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、先生、せんばい、あね、兄のことを聞くことです。

なので今の内に、いっぱい努力して勉強をがんばる事が大切なのです。なので、今までべんきようをがんばっていなかったこはこれから一生けん命がんばりましょう。

「今を大切に」

奥田 シンジ（14才）

授業で学んだ事を日常生活に生かそう。皆は日本語学校で何を学んでいますか。日本語学校では、日本語を教ったリ、スポーツにはげんだり、いろいろな子と話をして仲良くなったりなどいろいろな事をします。ですが、日本語学校に通っているのにもかかわらず、授業中ずっとポルトガル語で友達と話していて先生の話をちゃんと聴かない人がいたり、先生にむかってため口や悪口を言ったりする人がいます。そんなことをして先生がうれしいと思いますか。いいや、絶対うれしくはないと思います。先生だけではありません。母親などとても悲しくなると思います。自分の子が日本語を学ぶために学校に通わせているのに学校では、授業もろくに受けず友達と遊んでいたりし、先生からのよび出しが来たりし、せいと一人のために皆がこまる事になります。そんなことになると、先生はもちろん、親もせいとも不気げんになります。なので学校では、しっかりと授業に取り組みましょう。

皆の中には勉強するのが大きらいでろくに勉強せず、友達と遊んでばかりいる子はいないでしょうか。ですが学校での勉強をむだにしてはいけません。学校では、友達と授業を受け、アドバイスをもらったり、いっしょに笑ったりし、楽しく勉強をします。なので、遊んでばかりいずに友達といっしょにがんばりましょう。

何のために勉強をしているか分かりますか。それはしよる来、良い職業について海外に行ったり、自分の子供にいろいろ教えたりし、世の中通用する大人になるために子供のうちにいろんなことを勉強する必要があるのです。子供のころ、ろくに勉強をしなかった子が、ろくな大人になれると思いますか。何も分からなかったら良い仕事が出来な

いし、仕事がないとお金がもらえず大変なことになります。

未来の先輩へ

井伊 瑠美（15才）

今、私たち先輩は後輩たちに伝えたいことがたくさんあります。なぜかというとして現在の後輩は未来ではりっぱな先輩になるためにです。

先輩というのは年上な生徒だけではありません。せっつきよく的なきまりや思いやりがある人です。誰かを手伝わなといけなかったら、自分で判断をし、ほかの人のことや気持ちを考えて、手伝ったらいです。

後輩の皆は掃除の時でトイレをあらうことが大嫌いだと知っています。でもトイレをあらうことが好きな人はないと思います。私も前、先輩たちにトイレをまかして、遊んだり、にげたり、していました。でも時間がたつてトイレや掃除をちゃんとすることはあたりまえなことになりました。

そして小後輩はまだ勉強のやり方を覚えていないのです。はやく休み時間にでたいから、勉強をてきとうにしています。毛筆やコンクールの時では

「先生、これ終わったら、休み時に出てもいいですか。」

「先生、今日休み時間ないの。」

先生、先生とあっち、こっち言つて、いつも同じことを言ったり、する子がたくさんいます。だから、まだ小さい子だと知っていますが、これからはもっとがんばらないといけませんです。

そして先輩が大きくなって来たら、自分より年下の子のめんどろを見ないといけませんです。いつもグループごとにわけてこう作や遊びをしています。そしていつも小さい子に教えることや安ないすることがたくさんあるので未来

の先輩たちはめんどろをちゃんと見てください。

きたない言葉も禁止です。小さい子は大きい子のマネをしたくなるので、きたない言葉を使う事をやめた方がいいです。

いつか先輩になるので、ちゃんとした先輩になるようにたくさんがんばって、思いやりがある先輩になってください。なぜかというとい学校にいい先輩が必要です。

そして、

「かつこいいなあ。すごいなあ。僕も〇〇みたいになりたいなあ。」

と先輩になったら、たくさんの人が人自のこと、をそう思つて、みとめたりするととてもいい気持ちや思い出になります。



先輩との出会い

安藤 あきら (16才)

「僕はもう先輩になりました。」

時間が過ぎました。ちびっこだった頃と違って、今は上級生です。昔の色々な先輩の姿を見て、この学校の中でとてもりっぱな先輩になりました。さて、今回は僕達の番だ。どんなふうに先輩達の様子を見守って、正しい事を教えるのでしょうか。昔と同じように僕達の言う事を聞くから。

現在の子供や僕より若い子がかなり代わった。毎日、周りにいる人達のえいきょうか、家族が自分の子供に良い教育を教えていないかもしれないけど、日本語学校にいる大勢の後輩達が授業で先生の言う事を全然聞えないでさかいでいるし、自分がやったことに責任を持たないです。大変な事だと思うけど、それに挑戦するのは少し先輩の分です。しかし、僕や同じレベルの友達が対したミラクルをするとは思えない。ただ、僕達の力で後輩の思い方を変えるために頑張るのです。後は自分次第。

次は陸上の事です。陸上では早くなるために良いフォームや体のじくを作って頑張るのです。昔、僕は先輩だった頃、走る感覚があまりなかったです。それなのに、先輩がいつも助けに来てくれて、教えた事をちゃんと聞いてきちんとやっていました。でも、今の先輩がひどいです。先生が話している時にしゃべったり、何でもバラバラしています。

皆にドリルという練習を教えた事があります。ある日、練習の中でちゃんとしていない子を助けようと思ったとたん「もう知ってます。」と言いました。あれは最低でした。何も知ってないくせにこんな事を言うのはありえないです。チャンスがあったら僕は先輩達に色々な事を教えたいです。

先輩や先生の言う事を良く聞いて、そんなけいして、自分で意識して練習する事。

前の事をもとめて、後輩ってこんなものです。時には悪くて、時には正しく。この人達の組織を作るのは先輩の仕事です。先輩に良いえいきょうを与え、正しい事を教えたらきつと良い先輩になります。それで、年に連れて、日本語学校も生徒を入れ返して、にぎやかな所になると思います。ちりも積もれば山となる。前を向いて歩こう！

後輩へ、

角田 ゆかり (16才)

今、この学校の後輩達は先輩達の言う事をちゃんと聞いているのかな。私達、6年、上級生は今、この日本語学校の先輩です。だから私達がいいおてほんになれるようにいしきしています。そしてそれを後輩達が見て、覚える事がもくてきである。だから後輩達、ちゃんと読んでください。

まず最初に、後輩達、私があなた達をいつもしかっているのは、忘るい事をやっただけではなく、きみ達のためにおこっているから、変な顔をしないで、忘口をいわないでください。

皆、このピラール・ド・スール日本語学校を宝物としてみとめてください。この学校はあなた達にたくさんのお事をまだまだ教えます。そしてあなた達にいい思い出、友達、勉強とかをいっぱいもらえます。

先生達の事をちゃんと聞いてください。先生達とおい、日本からこのブラジルまでに私達を教えるにきていますから、大切にしましょう。いろんな学校があるけど、毎年、日本人の先生がくる学校はまれですから。

後輩達、たくさん笑ったり、ないたり、さけんたりあそんだり、はしたり、色んな事をやってください。なぜか

という年がたつにつれてそういうことはたくさんできなくなるからです。

後輩の皆、自信を持って自分たちで動いてください。あなた達は一人だけでなんでもできるから。

私も後輩だった時に忘い事をやりましたけどいい先輩達がいたから私にちゅういされました。

後輩の皆、あなた達は私達とまだいろいろな事を覚えなきやいけない。だから皆、私達のせなかを見て歩いてください。私達をしんじてください。そしていつか、ついにあなたは子供達のおてほんになって、とってもいい先輩になると思います。

